

光秀は文化人 史料から迫る

ぎふしん青年
重役会講演会

岐阜信用金庫の取引先の若手経営者でつくるぎふしん青年重役会は、岐阜、東濃、愛知の3支部合同ウェブ講演会を開催し、歴史作家で多摩大客員教授の河合



河合敦氏の講演を聞く岐阜信用金庫の幹部職員＝岐阜市神田町、同金庫本部

敦氏が「世界一わかりやすい明智光秀」と題してオンライン上で講演した。

講演は動画投稿サイト「ユーチューブ」でライブ配信し、同会の会員ら約千人が聴講した。河合氏は信

頼性のある史料から読み取れる明智光秀の実像を紹介。前半生は2次史料の伝承が多く、分らないことが多いとしながら「人を喜ばせることが好きで文化人でもあった」と述べた。本能寺の変を起こした動機について複数の説を示し、織田信長と四国の長宗我部元親の関係悪化に起因する「四国説」が「最近注目されている説だ」と話した。